



2020年7月27日

各位

会社名：株式会社 J Mホールディングス
代表者名：代表取締役 境 正博
(コード：3539 東証第一部)
問合せ先：取締役経理部長 杉山 洋子
(TEL：03-6453-6810)

2020年7月期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年7月27日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2019年9月12日に公表いたしました2020年7月期業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、2020年7月期において、当社連結子会社であるAATJ株式会社の、のれん等の減損損失を特別損失に計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2020年7月期業績予想数値の修正（2019年8月1日～2020年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,611	4,937	4,952	3,201	120.09
今回修正予想 (B)	126,800	6,640	6,730	3,406	127.76
増減額 (B-A)	6,189	1,703	1,778	205	7.67
増減率 (%)	5.1	34.5	35.9	6.4	6.4
(ご参考) 前期実績 (2019年7月期)	113,278	4,600	4,751	2,813	105.59

2. 業績予想修正の理由及び特別損失の計上について

新型コロナウイルス感染症拡大により、消費者の買いだめ行動、学校の臨時休校や各自治体からの外出自粛要請により在宅比率が高まり、内食商材の需要が伸びたことから売上高が伸びいたしました。

販売費・一般管理費は、計画外の店舗改装等により当初の予想を上回るものの、売上高ほどの伸びはないことから、営業利益、経常利益は、前回発表いたしました業績予想数値を上回る見込みとなりました。

当社連結子会社のAATJ株式会社におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、現在イベント等の開催を自粛しております。同社の将来収益に関する不透明感が高まったため、2020年7月期第4四半期連結会計期間（2020年5月1日～2020年7月31日）において、のれん等の減損損失766百万円を特別損失に計上することを見込んでおります。また、当社及び当社子会社が保有する固定資産において、減損処理等の計上143百万円を見込んでいるため、親会社株主に帰属する当期純利益を3,406百万円に修正いたしました。

※上記の業績予想に関しましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上